

2009年度  
決算説明資料

2010年5月10日  
旭化成株式会社

## 1. 2009年度実績

主要決算数値	P4～P5
連結損益計算書	P6
金融収支・有利子負債残高	P7
特別損益	P8
セグメント別売上高・営業利益	P9～P14
連結貸借対照表	P15
連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費	P16

## 2. 2010年度業績予想

当期の業績予想 P18

セグメント別売上高・営業利益 P19～P21

## 3. 参考資料

セグメント別業績推移 P23～P24

セグメント別概況 P25～P37

09年度緊急対策の実施結果 P38

セグメント別設備投資額、  
減価償却費、研究開発費 P39

設備投資件名 P40

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。  
当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

# 1. 2009年度実績

# 主要決算数値(1)

	08年度	09年度	
	a	実績 b	最新予想* c
売上高	15,531 億円	14,336 億円	14,320 億円
営業利益	350	576	530
経常利益	325	564	515
当期純利益	47	253	230

対前年度 (b-a)		対最新予想 (b-c)	
増減額	増減率	増減額	増減率
-1,195 億円	-7.7 %	16 億円	0.1 %
227	64.8	46	8.7
239	73.4	49	9.5
205	433.0	23	9.9

\* 2010年2月3日発表の業績予想。

	09/3月末	10/3月末
総資産	13,793 億円	13,689 億円
自己資本	6,038	6,333
有利子負債残高	3,156	2,646
D/Eレシオ	0.52	0.42

増減
-104 億円
295
-510
-0.10

# 主要決算数値(2)

	08年度	09年度
1株当たり当期純利益 (EPS)	3.39 円	18.08 円
1株当たり年間配当金	10 円	10 円
配当性向	295.0 %	55.3 %
総資産利益率 (ROA)	0.3 %	1.8 %
自己資本利益率 (ROE)	0.7 %	4.1 %
1株当たり純資産 (BPS)	431.77 円	452.91 円

## <連結対象範囲>

連結子会社数	103	98
持分法適用会社数	51	49

ナフサ価格 (国産ナフサ: ¥/kl)	58,925	41,175
為替レート (相場平均: ¥/US\$)	101	93

期末人員	24,244 人	25,085 人
------	----------	----------

# 連結損益計算書

(上段:百分率、% 下段:金額、単位億円)

	08年度	09年度	増減	増減率
売上高	100.0% 15,531	100.0% 14,336	-1,195	-7.7 %
売上原価	79.7% 12,378	76.8% 11,007	-1,371	-11.1 %
売上総利益	20.3% 3,153	23.2% 3,329	176	5.6 %
販管費	18.0% 2,803	19.2% 2,753	-50	-1.8 %
営業利益	2.3% 350	4.0% 576	227	64.8 %
営業外損益 (内、金融収支) (内、持分法投資損益)	-25 (-7) (8)	-13 (-4) (12)	12 (3) (3)	
経常利益	2.1% 325	3.9% 564	239	73.4 %
特別損益	-135	-103	32	
税前利益	1.2% 190	3.2% 461	270	142.0 %
法人税等 少数株主損益	-137 -6	-205 -3	-68 3	
当期純利益	0.3% 47	1.8% 253	205	433.0 %

# 金融収支・有利子負債残高

## (1) 金融収支

(億円)

	08年度	09年度	増減
支払利息	-43	-37	6
受取利息	10	11	0
受取配当金	26	23	-3
その他	-1	-1	-0
合 計	-7	-4	3

## (2) 有利子負債残高

(億円)

	09/3月末	10/3月末	増減
短期借入金	1,008	940	-68
コマーシャル・ペーパー	550	190	-360
長期借入金	1,325	1,219	-106
社債	250	250	-
リース債務	23	47	24
合 計	3,156	2,646	-510

# 特別損益

(億円)

	08年度	09年度	増減
投資有価証券売却益	0	1	1
固定資産売却益	5	2	-4
持分変動利益	-	2	2
仲裁裁定金*	-	65	65
特別利益	5	69	64
投資有価証券売却損	1	-	-1
投資有価証券評価損	7	19	12
固定資産処分損	59	29	-30
減損損失	3	8	5
環境対策費	19	15	-5
事業構造改善費用	50	100	50
特別損失	140	172	32
特別損益	-135	-103	32

\* 米CoTherix社からの仲裁裁定金



# セグメント\*別売上高・営業利益(1)

(億円)

	売上高			営業利益			09年度最新予想 <sup>‡</sup>	
	08年度 <sup>†</sup>	09年度	増減	08年度 <sup>†</sup>	09年度	増減	売上高	営業利益
ケミカル	6,893	6,221	-672	-65	261	326	6,110	235
住宅	4,099	3,897	-202	219	253	35	3,930	235
医薬・医療	1,196	1,132	-64	120	40	-80	1,160	70
繊維	1,164	1,012	-152	-15	-28	-13	1,010	-30
エレクトロニクス	1,297	1,427	130	73	72	-0	1,440	65
建材	609	470	-139	17	12	-5	470	10
サービス・エンジニアリング等	273	176	-97	56	18	-38	200	15
消去又は全社	-	-	-	-55	-53	2	-	-70
合計	15,531	14,336	-1,195	350	576	227	14,320	530

\* 09年度より一部セグメント名称を以下の通り変更。(次ページ以降同様)

(従来) ケミカルズ → (新) ケミカル      (従来) ファーマ → (新) 医薬・医療  
 ホームズ →                      住宅                      せんい →                      繊維

† 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

‡ 2010年2月3日発表の業績予想。

# セグメント別売上高・営業利益(2)(海外売上高) **AsahiKASEI**

(億円)

	08年度*			09年度			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率(%)		金額	比率(%)	金額	伸び率(%)
ケミカル	6,893	2,665	38.7%	6,221	2,437	39.2%	-228	-8.5%
住宅	4,099	-	-	3,897	-	-	-	-
医薬・医療	1,196	291	24.4%	1,132	252	22.3%	-39	-13.4%
繊維	1,164	363	31.2%	1,012	331	32.7%	-32	-8.8%
エレクトロニクス	1,297	563	43.4%	1,427	664	46.5%	101	17.9%
建材	609	-	-	470	-	-	-	-
サービス・エンジニアリング等	273	57	20.9%	176	19	10.9%	-38	-66.4%
合計	15,531	3,940	25.4%	14,336	3,704	25.8%	-236	-6.0%
東アジア地域 <sup>†</sup> への売上高		2,332	15.0%		2,373	16.6%	41	1.7%

## <参考>

住宅・建材を除いた売上高      10,823    3,940    36.4%    9,968    3,704    37.2%

\* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

† 中国、韓国、台湾

# セグメント別売上高増減要因(年間比較) **AsahiKASEI**

(億円)

	08年度*	09年度	数量差	売値差		その他差	計
					うち為替因		
ケミカル	6,893	6,221	-179	-762	-79	269	-672
住宅	4,099	3,897	-247	20	-	26	-202
医薬・医療	1,196	1,132	27	-21	-15	-71	-64
繊維	1,164	1,012	-67	-85	-22	0	-152
エレクトロニクス	1,297	1,427	226	-182	-32	87	130
建材	609	470	-152	13	-	0	-139
サービス・エンジニアリング等	273	176	-97	0	0	0	-97
合計	15,531	14,336	-489	-1,017	-149	310	-1,195

\* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

# セグメント別営業利益増減要因(年間比較) **AsahiKASEI**

(億円)

	08年度*	09年度	数量差	売値差	うち為替因	コスト差等	計
ケミカル	-65	261	-14	-762	-79	1,102	326
住宅	219	253	-93	20	-	108	35
医薬・医療	120	40	24	-21	-15	-84	-80
繊維	-15	-28	-10	-85	-22	82	-13
エレクトロニクス	73	72	108	-182	-32	74	-0
建材	17	12	-41	13	-	24	-5
サービス・エンジニアリング等	56	18	-37	0	0	-1	-38
消去又は全社	-55	-53	-	-	-	2	2
合計	350	576	-63	-1,017	-149	1,307	227

\*08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

# セグメント別売上高増減要因(下期比較) **AsahiKASEI**

(億円)

	08年度* 下期	09年度 下期	数量差	売値差		その他差	計
					うち為替因		
ケミカル	2,672	3,288	370	-52	-26	299	616
住宅	2,396	2,320	-112	4	-	33	-76
医薬・医療	568	569	-3	2	-0	2	1
繊維	523	525	40	-38	-7	0	2
エレクトロニクス	510	742	306	-116	-19	42	232
建材	296	224	-75	3	-	0	-72
サービス・エンジニアリング等	134	80	-54	0	0	0	-54
合 計	7,099	7,749	472	-197	-52	375	650

\* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

# セグメント別営業利益増減要因(下期比較)AsahiKASEI

(億円)

	08年度* 下期	09年度 下期	数量差	売値差	うち為替因	コスト差等	計
ケミカル	-196	146	49	-52	-26	345	342
住宅	188	212	-43	4	-	62	24
医薬・医療	19	6	-4	2	-0	-11	-13
繊維	-28	1	10	-38	-7	57	29
エレクトロニクス	-54	44	124	-116	-19	89	98
建材	8	6	-16	3	-	11	-2
サービス・エンジニアリング等	26	8	-17	0	0	-1	-18
消去又は全社	-15	-26	-	-	-	-11	-11
合計	-52	397	104	-197	-52	541	448

\*08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

# 連結貸借対照表

(億円)

	09/3月末	10/3月末	増減		09/3月末	10/3月末	増減
流動資産	6,822	6,604	-218	負債	7,680	7,242	-438
現金及び預金	980	939	-40	流動負債	4,879	4,348	-531
受取手形及び売掛金	2,089	2,389	301	固定負債	2,801	2,894	93
棚卸資産	2,735	2,511	-225	純資産	6,114	6,447	333
その他	1,018	765	-254	株主資本	5,991	6,129	137
固定資産	6,971	7,085	114	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,413	4,475	62	資本剰余金	794	794	-0
無形固定資産	374	347	-27	利益剰余金	4,183	4,321	138
投資その他の資産	2,185	2,263	79	自己株式	-19	-20	-1
				評価・換算差額等	47	205	157
				少数株主持分	75	113	38
資産合計	13,793	13,689	-104	負債純資産合計	13,793	13,689	-104

# 連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費

## (1) 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	08年度	09年度
営業活動によるキャッシュ・フロー①	688	1,693
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-1,357	-1,002
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	-669	691
財務活動によるキャッシュ・フロー④	873	-751
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	-54	6
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	151	-53
現金及び現金同等物の期首残高⑦	830	981
非連結子会社の連結化に伴う増加額⑧	-	4
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	981	931

## (2) 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	08年度	09年度
設備投資額(有形)	1,043	779
設備投資額(無形)	224	61
設備投資額計	1,267	840
減価償却費	794	873
研究開発費	608	629



## 2. 2010年度業績予想

# 当期の業績予想

(億円)

	08年度	09年度			10年度(予)			増減 b-a
		上	下	計a	上	下	計b	
売上高	15,531	6,586	7,749	14,336	7,920	8,850	16,770	2,434
営業利益	350	180	397	576	315	485	800	224
経常利益	325	151	413	564	310	465	775	211
当期純利益	47	42	210	253	130	295	425	172

ナフサ価格(国産ナフサ¥/kl)	58,925	37,250	45,100	41,175	50,000	50,000	50,000	8,825
為替レート(相場平均¥/\$)	101	95	90	93	90	90	90	-3

	08年度	09年度	10年度
1株当たり年間配当金	10円	10円	10円 (予定)
配当性向	295.0%	55.3%	32.9%

# セグメント別売上高

(億円)

	09年度			10年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカル	2,933	3,288	6,221	3,910	4,070	7,980	1,759
住宅	1,577	2,320	3,897	1,760	2,400	4,160	263
医薬・医療	563	569	1,132	590	640	1,230	98
繊維	487	525	1,012	510	540	1,050	38
エレクトロニクス	685	742	1,427	810	860	1,670	243
建材	246	224	470	250	250	500	30
サービス・エンジニアリング等	96	80	176	90	90	180	4
合 計	6,586	7,749	14,336	7,920	8,850	16,770	2,434

# セグメント別営業利益

(億円)

	09年度			10年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカル	115	146	261	155	130	285	24
住宅	41	212	253	70	220	290	37
医薬・医療	34	6	40	35	55	90	50
繊維	-29	1	-28	5	15	20	48
エレクトロニクス	28	44	72	75	85	160	88
建材	6	6	12	10	10	20	8
サービス・エンジニアリング等	10	8	18	5	10	15	-3
消去又は全社	-26	-26	-53	-40	-40	-80	-27
合 計	180	397	576	315	485	800	224

# 当期業績の見通し

セグメント	業績(億円)		見通し
	09年度	10年度予	
ケミカル	売上高 6,221 営業利益 261	7,980 285	モノマー系事業、ポリマー系事業の汎用系事業、高付加価値系事業ともに原燃料価格の上昇により交易条件が悪化するものの、海外向けを中心に販売数量の増加を見込むことなどから、セグメント全体では増収・増益となる見通し。
住宅	売上高 3,897 営業利益 253	4,160 290	09年度からの受注回復による請負住宅の引渡戸数の増加やコストダウンにより、増収・増益となる見通し。
医薬・医療	売上高 1,132 営業利益 40	1,230 90	医薬事業は、薬価改定による販売価格下落の影響を受けるものの、抗血液凝固剤「リコモジュリン™」などの販売数量の増加などを見込む。医療事業は、「APS™」や「プラノバ™」の海外向けを中心とした販売数量の増加などを見込み、セグメント全体では増収・増益となる見通し。
繊維	売上高 1,012 営業利益 -28	1,050 20	原燃料価格高騰の影響を受けるものの、製品価格の上昇や、「ロイカ™」、「ベンベルグ™」、スパンボンド、「レオナ™」繊維など主要製品の販売数量の増加を見込むことに加え、09年度に実施した事業構造改善の効果により、増収・増益となる見通し。
エレクトロニクス	売上高 1,427 営業利益 72	1,670 160	電子材料系事業、電子部品系事業の各製品とも、市況の回復などにより販売数量の増加を見込むことに加え、積極的なコストダウンにより、セグメント全体では増収・増益の見通し。
建材	売上高 470 営業利益 12	500 20	建築需要の落ち込みによる「ヘーベル™」などの販売数量の減少が依然続くことが予想されるものの、基礎事業での新規用途開拓や、住建事業での構造資材の新商品の拡販に加え、生産体制の最適化によるコストダウンにより、増収・増益となる見通し。

## 3. 参考資料

# セグメント別売上高推移

(億円)

	08年度*				09年度				10年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	上期 予想	下期 予想
ケミカル	1,950	2,272	1,567	1,104	1,329	1,603	1,590	1,698	3,910	4,070
住宅	637	1,066	1,121	1,275	585	992	960	1,360	1,760	2,400
医薬・医療	346	282	296	272	285	278	296	273	590	640
繊維	307	334	281	242	224	263	259	266	510	540
エレクトロニクス	396	391	312	198	315	370	374	368	810	860
建材	147	166	167	129	116	130	124	101	250	250
サービス・エンジニア リング等	77	62	54	80	39	57	38	43	90	90
合 計	3,860	4,572	3,798	3,301	2,893	3,693	3,641	4,109	7,920	8,850

\* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。

# セグメント別営業損益推移

(億円)

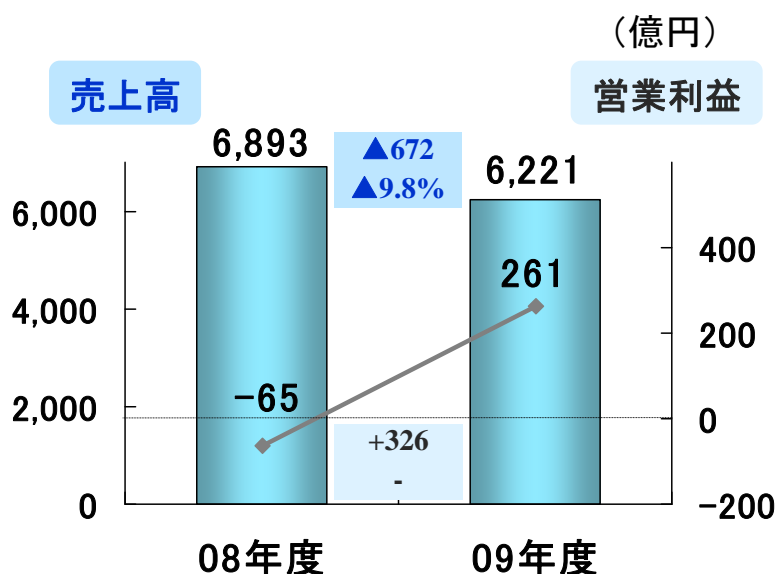
	08年度*				09年度				10年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	上期 予想	下期 予想
ケミカル	62	69	-23	-173	22	93	103	42	155	130
住宅	-37	68	77	111	-30	71	67	145	70	220
医薬・医療	90	12	28	-9	31	3	29	-23	35	55
繊維	11	2	-5	-22	-15	-14	-0	1	5	15
エレクトロニクス	68	58	12	-66	-6	34	26	18	75	85
建材	3	5	10	-2	-0	6	11	-5	10	10
サービス・エンジニア リング等	13	18	10	15	4	6	1	7	5	10
消去又は全社	-16	-24	-11	-5	-10	-17	-17	-9	-40	-40
合 計	194	207	99	-151	-3	183	220	177	315	485

\* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルセグメントのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルセグメントのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維セグメントへ移管。





## ＜概況＞

汎用系事業中心に製品価格の下落の影響を受け、前期比減収となったが、モノマー系中心に交易条件等は改善し営業損益は黒字転換となった。

### ・汎用系事業

#### ＜モノマー系事業＞

前半は数量・価格共低水準で推移したが、年中頃からの中国を中心としたアジア市場の需要回復に伴い、アクリロニトリル、アジピン酸などのモノマー製品が急回復した。前期比減収となったが、下期に大きく交易条件が改善したことに加え、在庫評価損の減少の影響もあり、前期比増益となった。

#### ＜ポリマー系事業＞

自動車や家電向けの需要が後半より回復したが、原燃料価格下落に伴う製品価格下落の影響により、前期比減収となった。営業利益は、在庫評価損の減少の影響などから前期並となった。

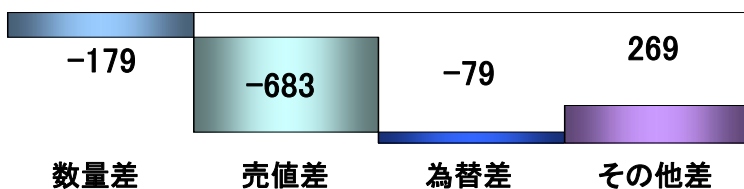
### ・高付加価値系事業

水処理事業の業績回復の遅れやイオン交換膜事業において円高の影響を受けたことなどにより、前期比減収となったが、「サランラップ<sup>TM</sup>」などの消費材やコーティング事業が好調に推移したことに加え、添加剤事業なども堅調に推移したことから、前期比増益となった。

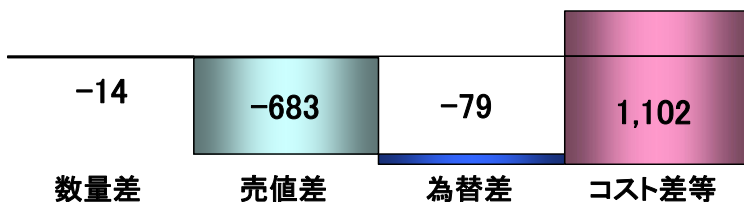
## ＜トピックス＞

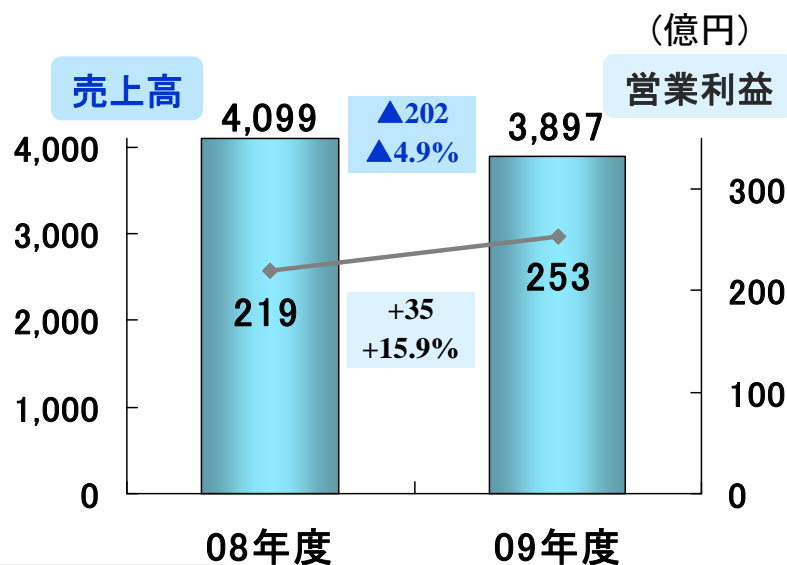
- ・木質バイオマス発電設備の新設決定を発表。(4月)
- ・(株)三菱ケミカルホールディングスとの水島地区エチレンセンター統合に関する検討について発表。(6月)
- ・アジア最大規模のフィリピンの膜式水道浄水設備に水処理用中空糸ろ過膜「マイクロザ<sup>TM</sup>」の採用が決定。(6月)
- ・三菱化学(株)保有のPSジャパン(株)の全株式譲渡、当社と出光興産(株)での譲受けを決定。(8月、10月より連結子会社化)
- ・PSジャパン(株)四日市工場の操業停止を決定。(2月、11年3月末停止予定)
- ・高濁度原水に対応した新型浄水用浸漬式膜を販売開始。(3月)

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析





## 事業別差異分析

	08年度(a)		09年度(b)		差異(b-a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負	3,073		2,823		-249	
分譲	299		321		22	
他	15		19		4	
小計	3,387	154	3,164	192	-223	38
住宅周辺	712	65	734	62	22	-3
合計	4,099	219	3,897	253	-202	35

※上記事業別業績数値は参考情報として簡便計算で算出したものです。

## <概況>

### ・建築請負・分譲事業

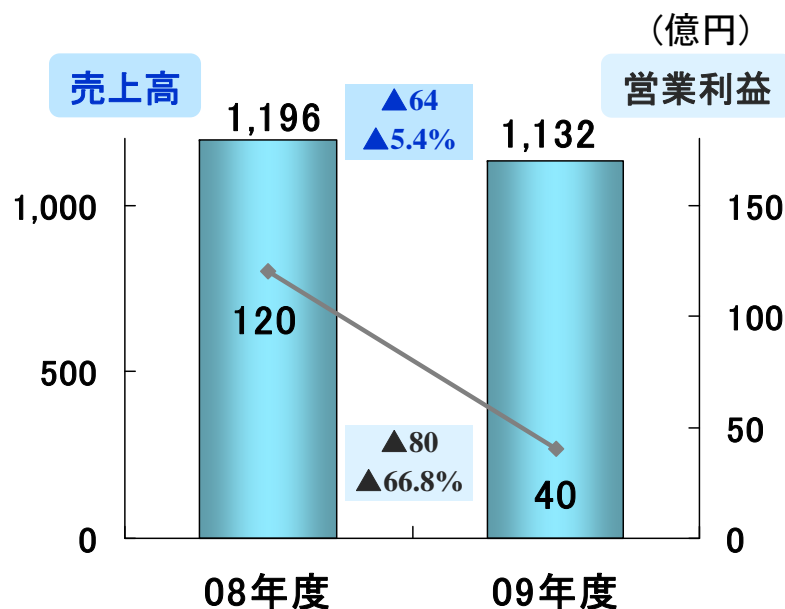
- ・戸建住宅「ヘーベルハウス™」の引渡戸数が大幅に減少したものの、大幅なコストダウンなど経営の効率化に努めたことから前期比減収、増益となった。
- ・建築請負事業の受注高は、厳しいマクロ環境の下、戸建て、集合共に順調に受注を伸ばし、前期比5.4%の増となった。

### ・住宅周辺事業 (リフォーム、不動産など)

リフォーム事業、不動産事業は堅調に推移したものの、金融事業が苦戦したことから、前期比増収、微減益となった。

## <トピックス>

- ・高性能・シンプルプランで求めやすい価格の「スマートヘーベルハウス™」を発売。(5月)
- ・旭化成(株)および旭化成ケミカルズ(株)との共同研究による高耐久・高性能光触媒塗装「デュラ光™」を発売。(7月)
- ・建替え市場をターゲットとした「ヘーベルハウス™新大地プレミアム」を発売。(8月)
- ・住友林業(株)、三井ホーム(株)と設置している共同購買委員会に積水化学工業(株)が新たに参加。(11月)
- ・子育て世代を支援する生活提案「+NEST」(プラスネスト)を発売。(12月)
- ・設計自由度を高め、長期優良住宅に適合する次世代省エネ性能を実現した3階建て住宅「ヘーベルハウス™フレックス G3」を求めやすい価格で発売。(1月)



## <概況>

### ・医薬事業

排尿障害改善剤「フリバス™」やカルシトニン製剤「エルシトニン™」などの販売数量が増加し売上増に寄与したものの、ライセンス収入が大幅に減少したことなどから前期比減収、減益となった。

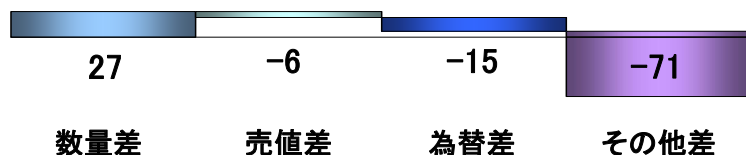
### ・医療事業

ポリスルホン膜人工腎臓「APS™」や白血球除去フィルター「セパセル™」などの販売数量が輸出を中心に増加したものの、各製品が円高の影響を強く受けたこと、減価償却費が増加したことなどにより、前期比微減収、減益となった。

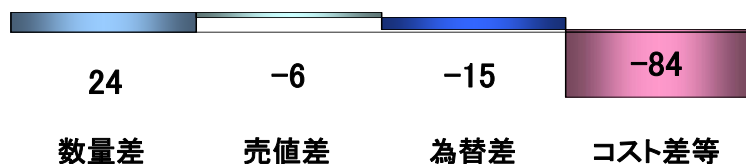
## <トピックス>

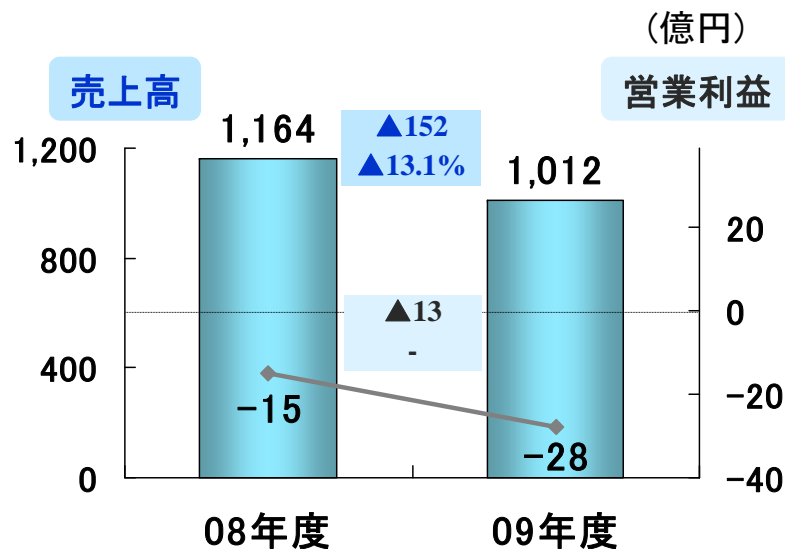
- ・ウイルス除去フィルター「プラノバ™」の新紡糸工場竣工。(4月)
- ・「フリバス™」の韓国におけるライセンス契約の締結。(4月)
- ・「セパセル™」の新工場竣工。(4月)
- ・コエンザイムQ10製造・販売などの特薬事業からの撤退を決定。(5月)
- ・ネクステージメディカル社との事業提携契約の締結。(5月)
- ・バイオ医薬品向け合成高分子新膜のウイルス除去フィルター「Planova™ BioEX」の発売。(6月)
- ・アフェレシス(血液浄化治療用機器)新工場の建設を決定。(9月、11年3月現工場から新工場への設備移行完了予定)
- ・医療機器開発・製造メーカー(株)メテクの全株式譲受けを決定。(9月、10月より連結子会社化)
- ・韓国で医療機器販売会社の営業を開始。(11月)
- ・米CoTherix社がローキナーゼ阻害剤「ファスジル」の開発・販売権を供与するライセンス契約に違反したことに基づく損害賠償についての仲裁手続で最終裁定、CoTherix社に対し91百万ドルの支払命令(第3四半期に特別利益として約65億円を計上)。(12月)
- ・北米でのバイオプロセス事業(「プラノバ™」輸入販売事業と装置事業)を統合し、「旭化成バイオプロセス」として営業開始。(1月)
- ・緑内障治療薬(AK138)のライセンス契約の締結。(3月)

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析





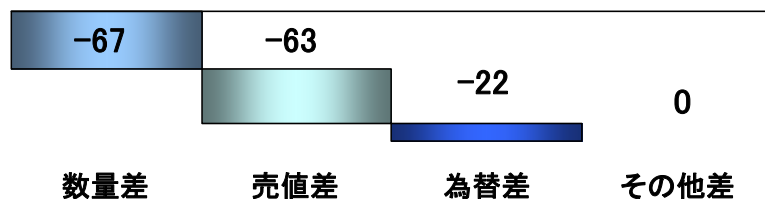
## <概況>

- ・ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」は、販売数量が増加したものの、製品価格下落や円高の影響を強く受けたことから、前期比減収、減益となった。
- ・再生セルロース繊維「ベンベルグ™」は海外向けが堅調に推移したものの、円高の影響を強く受けたことなどから、前期比減収、減益となった。
- ・不織布事業は、スパンボンドの販売数量が減少し前期比減収となったが、人工皮革「ラムース™」のカーシート分野での販売数量の増加やコストダウンに努めたことなどから、収益性は改善した。
- ・ナイロン66繊維「レオナ™」は販売数量が減少し前期比減収となったが、原燃料価格の下落やコストダウンに努めたことから、収益性は改善した。

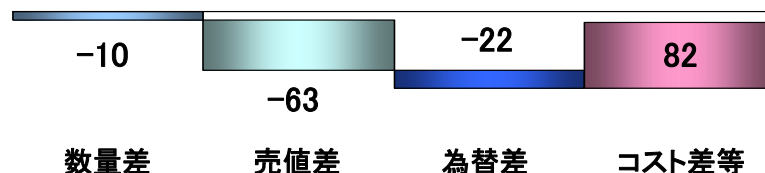
## <トピックス>

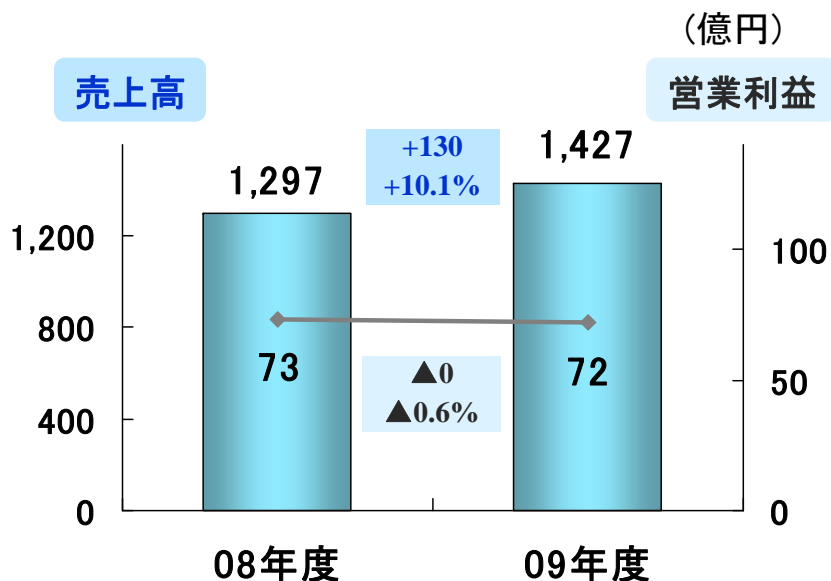
- ・帝人ファイバー(株)とのPTT繊維事業合弁会社ソロテックス(株)の解散を決定。(7月)
- ・環境対応型新フィルターバッグ「dECOOb(デコブ)™」の販売開始。(2月)
- ・旭化成・中国ファッションデザイナークリエイティブ大賞の授与式及びファッションショー開催。(3月)

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析





## <概況>

電子材料系事業が価格下落の影響などを受けたが、電子部品系事業が堅調に推移したことから、前期比増収、微減益となった。

### ・電子部品系事業

円高の影響を強く受けたものの、新規子会社の連結、LSIの新規用途での販売数量の大幅増加などにより、前期比増収、増益となった。

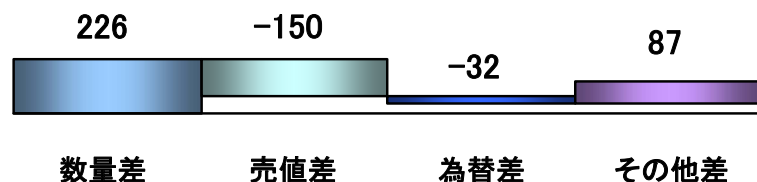
### ・電子材料系事業

リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」を中心に販売数量は回復したものの、製品価格下落の影響などから、前期比減収、減益となった。

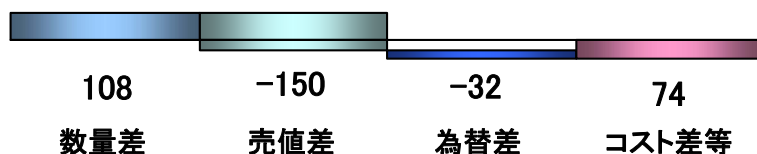
## <トピックス>

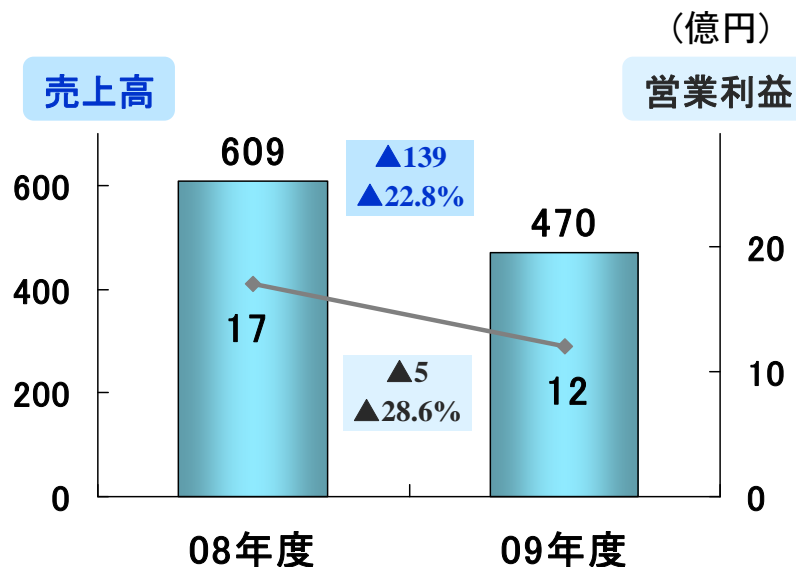
- ・東光(株)より半導体事業を譲受け。(4月)
- ・リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」の守山での生産設備増設の竣工(7月及び9月)、日向での新工場の竣工。(10年4月)

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析





## <概況>

### ・住建事業(建築・住宅用資材)

建築着工数の減少により、軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベル™」や露出型弾性固定柱脚工法「ベースパック™」の販売数量が減少したことなどから、前期比減収、減益となった。

### ・基礎事業

小口径・鋼管杭工法「EAZET™」や低排土・高支持力コンクリートパイル工法「DYNAWING™」などの基礎杭工事の請負高が減少したことなどから、前期比減収、減益となった。

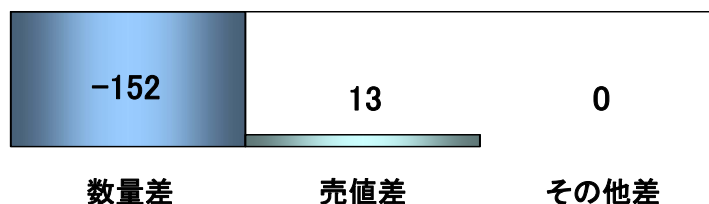
### ・断熱材事業

住宅着工数の減少の影響を受け、前期比減収となったが、コストダウンに努めたことにより、収益性は改善した。

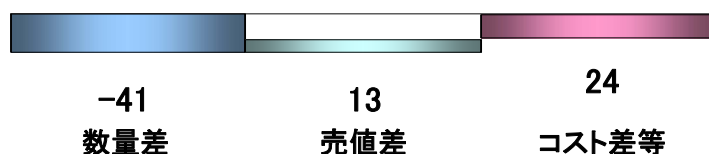
## <トピックス>

- ・白老工場(軽量気泡コンクリート生産)の閉鎖を決定。(5月)
- ・AIU保険会社と共同開発した木造ALC住宅用火災保険商品「トライアングルA」の取り扱い開始。(1月)
- ・穂積工場の軽量気泡コンクリート生産設備1ラインの廃止を決定。(1月、2010年9月生産終了予定)

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析



## 1. 売上高、受注高の状況

(単位:億円、( )内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他*	単独計	関係会社等	連結計	受注残
05	上期	1,504 (▲1.7%)	1,402 (0.9%)	205 (213.0%)	4	1,611 (10.4%)	242 (13.6%)	1,853 (10.8%)	3,204
	下期	1,629 (9.5%)	1,793 (4.3%)	131 (▲3.6%)	6	1,930 (3.8%)	262 (16.4%)	2,192 (5.1%)	3,040
	通期	3,133 (3.8%)	3,194 (2.8%)	336 (67.0%)	11	3,541 (6.7%)	504 (15.1%)	4,045 (7.7%)	
06	上期	1,561 (3.7%)	1,347 (▲3.9%)	60 (▲70.9%)	5	1,411 (▲12.4%)	280 (15.7%)	1,691 (▲8.7%)	3,253
	下期	1,473 (▲9.6%)	1,829 (2.0%)	230 (75.8%)	5	2,064 (6.9%)	302 (15.3%)	2,366 (7.9%)	2,898
	通期	3,034 (▲3.2%)	3,176 (▲0.6%)	289 (▲13.8%)	10	3,475 (▲1.9%)	582 (15.5%)	4,057 (0.3%)	
07	上期	1,536 (▲1.5%)	1,312 (▲2.6%)	50 (▲16.5%)	4	1,366 (▲3.2%)	303 (8.2%)	1,669 (▲1.3%)	3,123
	下期	1,525 (3.5%)	1,659 (▲9.3%)	195 (▲15.1%)	5	1,860 (▲9.9%)	333 (10.3%)	2,193 (▲7.3%)	2,988
	通期	3,061 (0.9%)	2,971 (▲6.5%)	245 (▲15.4%)	10	3,225 (▲7.2%)	637 (9.5%)	3,862 (▲4.8%)	
08	上期	1,571 (2.3%)	1,294 (▲1.4%)	60 (19.7%)	7	1,360 (▲0.4%)	343 (13.2%)	1,703 (2.0%)	3,266
	下期	1,339 (▲12.1%)	1,779 (7.2%)	240 (22.8%)	9	2,027 (9.0%)	369 (10.8%)	2,396 (9.3%)	2,826
	通期	2,911 (▲4.9%)	3,073 (3.4%)	299 (22.2%)	15	3,387 (5.0%)	712 (11.8%)	4,099 (6.1%)	
09	上期	1,546 (▲1.6%)	1,158 (▲10.5%)	52 (▲12.6%)	8	1,219 (▲10.4%)	358 (4.4%)	1,577 (▲7.4%)	3,213
	下期	1,523 (13.7%)	1,665 (▲6.4%)	269 (12.4%)	11	1,945 (▲4.1%)	375 (1.7%)	2,320 (▲3.2%)	3,071
	通期	3,069 (5.4%)	2,823 (▲8.1%)	321 (7.4%)	19	3,164 (▲6.6%)	734 (3.0%)	3,897 (▲4.9%)	
10予	通期	3,240 (5.6%)	3,020 (7.0%)	340 (5.8%)	20	3,380 (6.8%)	780 (6.3%)	4,160 (6.7%)	3,291

\* 他: 損害保険販売手数料収入等

## 2. 2009年度用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前年比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸	低層	1,751	-10.7%	5,907	-15.5%	1,830	-2.7%	5,994	-5.2%
	中層	673	-7.5%	2,446	0.9%	734	15.4%	2,956	25.2%
建	小計	2,424	-9.9%	8,353	-11.3%	2,565	1.9%	8,950	3.1%
集	低層	128	-12.1%	1,211	-16.5%	150	7.1%	1,413	11.1%
	中層	272	14.0%	2,409	0.3%	354	39.4%	3,121	24.6%
系	小計	400	4.1%	3,620	-6.0%	504	27.9%	4,534	20.1%
合計		2,823	-8.1%	11,973	-9.7%	3,069	5.4%	13,484	8.2%
分譲事業等		321	7.4%	517	-31.2%	-	-	-	-
他*		19	26.3%	-	-	-	-	-	-
合計		3,164	-6.6%	12,490	-10.9%	3,069	5.4%	13,484	8.2%
関係会社等		734	3.0%	-	-	-	-	-	-
総合計		3,897	-4.9%	12,490	-10.9%	3,069	5.4%	13,484	8.2%

\* 他: 損害保険販売手数料収入等



## 3. 2010年度用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数予想(受注は請負のみ)

(右欄:前年比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸	低層	1,791	2.3%	5,970	1.1%	1,834	0.2%	6,000	0.1%
	中層	748	11.1%	2,990	22.2%	847	15.4%	3,390	14.7%
建	小計	2,539	4.7%	8,960	7.3%	2,681	4.5%	9,390	4.9%
集	低層	141	10.1%	1,340	10.7%	155	3.9%	1,470	4.0%
	中層	341	25.4%	2,990	24.1%	404	14.0%	3,540	13.4%
系	小計	482	20.5%	4,330	19.6%	559	11.0%	5,010	10.5%
合計		3,020	7.0%	13,290	11.0%	3,240	5.6%	14,400	6.8%
分譲事業等		340	5.8%	450	-13.0%	-	-	-	-
他*		20	6.9%	-	-	-	-	-	-
合計		3,380	6.8%	13,740	10.0%	3,240	5.6%	14,400	6.8%
関係会社等		780	6.3%	-	-	-	-	-	-
総合計		4,160	6.7%	13,740	10.0%	3,240	5.6%	14,400	6.8%

\* 他:損害保険販売手数料収入等

## 4. 関係会社損益

(億円)

	08年度		09年度	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
旭化成リフォーム	327	36	331	36
旭化成不動産	358	15	380	14

### <概況>

#### 旭化成リフォーム

(09年度実績)

人員増強や太陽光発電設備の提案力強化などにより受注拡大に努めた結果、前期比増収となったが、人員増による固定費増などにより、営業利益は前期並となった。

(10年度予想)

設備系工事の提案力強化などにより受注の拡大を図り、増収となる見通したが、人員増による固定費負担増などにより、営業利益は横ばいとなる見通し。

#### 旭化成不動産

(09年度実績)

賃貸管理戸数を順調に伸ばし、前期比増収となったものの、賃貸管理物件の空室率の悪化などの影響を受け、前期比微減益となった。

(10年度予想)

空室率の改善、賃貸管理戸数の増加などにより、増収、増益を目指す。

## 1. 売上高内訳

(億円)

		08年度			09年度		
		上期	下期	年間	上期	下期	年間
医薬系	医薬	304	259	563	267	267	534
	その他	54	49	103	40	34	74
	計	358	308	666	307	301	608
医療系*		270	260	530	256	268	524
医薬・医療 計		628	568	1,196	563	569	1,132

\* 旭化成クラレメディカル、旭化成メディカル、及びその関係会社の合計。

### <主要医薬品の国内売上高>

	08年度			09年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
エルシトニン™	68	64	132	73	67	140
フリバス™	45	53	98	68	69	137
ブレディニン™	31	31	62	33	32	65
トレドミン™	29	28	57	26	23	50
エリル™	7	7	14	7	7	14
リコモジュリン™	2	3	4	5	8	12

## 2. 主要医薬品の説明

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型	共同開発会社
エルシトニン™注 20S エルシトニン™注 20Sディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤	—
フリバス™	ナフトピジル	α1ブロッカー	前立腺肥大症に伴う排尿障害	錠剤	—
ブレディニン™	ミゾリビン	免疫抑制剤	慢性関節リウマチ、腎移植、ネフローゼ症候群、ループス腎炎	錠剤	—
トレドミン™	塩酸ミルナシプラン	セロトニン・ノルアドレナリン再取込阻害剤(SNRI)	うつ病・うつ状態	錠剤	—
エリル™	塩酸ファスジル	ローキナーゼ阻害剤	くも膜下出血術後の脳血管れん縮及びこれに伴う脳虚血症状の改善	注射剤	—
リコモジュリン™ (2008年5月発売)	トロンボモデュリンアルファ(遺伝子組換え)	抗血液凝固剤	DIC(汎発性血管内血液凝固症候群)	注射剤	—
ファムビル™ (2008年7月発売、マルホ(株)に販売を委託)	ファムシクロビル	抗ウイルス剤	帯状疱疹	錠剤	(提携) ノバルティス ファーマ

## 3. 研究開発の状況

	品目	区分	剤名	適応症
フェーズⅢの品目	①AT-877注	適応拡大	(ローキナーゼ阻害剤)	脳梗塞急性期
	②PTH注	新成分新薬	(副甲状腺ホルモン)	骨粗鬆症
	③AK-120錠	適応拡大	(抗ヘルペスウィルス剤)	単純疱疹
フェーズⅡの品目	①AT-877錠	適応拡大 剤型追加	(ローキナーゼ阻害剤)	肺高血圧症
フェーズⅡ準備中	①AK150注	新成分新薬	(ポリ硫酸ペントサン)	変形性関節症

### 探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会で高まる医療ニーズを解決するために整形外科領域や泌尿器領域を中心に積極的に活動しています。今後共、医療ニーズをいち早く捉え解決するために研究開発対象や自社技術を絶えず革新するとともに、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進します。

## ✓汎用事業の見直し

- ポリエステル長繊維の生産停止
- モノフィラメント事業、PTT繊維からの撤退
- 特薬事業(コエンザイムQ10)からの撤退
- 軽量気泡コンクリート・白老工場の閉鎖、穂積工場の生産能力縮小

## ✓固定費の削減 ▲約180億円(減価償却費の増 78億円を含む)

## ✓設備投資の削減

- 08年度 1,267億円→09年度 840億円

## ✓在庫(棚卸資産)の圧縮

- 08年12月末 3,249億円 → 09年3月末 2,735億円 → 09年9月末 2,662億円 → 10年3月末 2,511億円

## ✓役員報酬の減額 ▲10%~20%

# セグメント別設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	設備投資額			減価償却費			研究開発費		
	08年度*	09年度	10年度 予想	08年度*	09年度	10年度 予想	08年度*	09年度	10年度 予想
ケミカル	363	276	290	322	324		146	140	
住宅	70	60	50	34	43		25	21	
医薬・医療	316	92	85	103	122		164	184	
繊維	124	46	60	72	77		39	38	
エレクトロニクス	318	228	180	198	236		184	184	
建材	24	12	25	36	33		10	11	
サービス・エンジニアリング等	11	9	10	8	8		1	2	
消去又は全社	41	117	50	21	30		39	48	
合計	1,267	840	750	794	873	900	608	629	650

＜参考＞

投資有価証券の取得 175<sup>†</sup> 113<sup>†</sup> 15  
 (支払ベース、上記設備投資額の外数)

\* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルズのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルズのナイロン66繊維「レオナ™」をせんいへ移管。

† タイPTT社とのAN、MMAプラント新設計画等

## <09年度完工件名>

- ・白血球除去フィルター「セパセル™」生産能力増強  
(08/3~09/4、400万本/年、大分)
- ・石油残渣物を燃料とするボイラー設備新設  
(07/2~09/7、水島)
- ・「新事業開発棟」建設  
(08/8~09/8、富士)
- ・排尿障害改善剤ナフトピジル生産設備新設  
(09/10、延岡)
- ・(タイ旭化成スパンデックス)  
ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」製造設備能力増強  
(08/5~09/11、タイ)
- ・ポリスルホン膜人工腎臓「APS™」の中空糸紡糸製造設備増設  
(08/5~09/12、600万束/年、延岡)
- ・食塩電解プロセス用イオン交換膜生産能力増強  
(川崎)
- ・リチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」製造設備能力増強(3,000万m<sup>2</sup>/年、守山)
- ・LSI製造設備能力増強(延岡)

## <09年度末時点 工事中件名>

- ・ウイルス除去フィルター「プラノバ™」組立工場生産能力増強  
(大分で新設)  
(09/4~10/5、40,000m<sup>2</sup>/年、大分)
  - ・アフレスिस(血液浄化治療用機器)新工場建設  
(09/9~11/3、大分)
  - ・「ハイポア™」製造設備新設、能力増強  
(10年度、2,000万m<sup>2</sup>/年新設、2,000万m<sup>2</sup>/年・1,500万m<sup>2</sup>/年  
能力増強(合計5,500万m<sup>2</sup>/年)、日向)
  - ・木質バイオマス発電設備新設  
(10/2~12/7、延岡)
- : 投資額30億円以上